



小山市立中央図書館

# 豊かな人と地域を創る図書館に vol.4

## 小山市立中央図書館 データベース導入事例

### ビジネス支援にデータベース

小山市立中央図書館は、3つの分館をはじめ、公民館図書室、配本所、移動図書館を東ねています。基本理念は『豊かな人と地域を創る図書館』。その上で「今年度の目標を『小山には良い図書館があるので小山市に引っ越したいといわれる図書館づくりを推進する』と決めました」と栗原要子館長は語ります。具体的なサービスとして①ビジネス支援②農業支援③子育て支援を3本柱に取り組んでいます。

「ビジネス支援」はビジネスに関連する情報の収集、提供はもちろん、セミナーなどを開催。「下野新聞データベー

スplus日経テレコン」はこの事業のツールとして導入しました。「1階のコーナーでは地元のブランド品などを常設展示しています」と総務係主任の木村香保里さん。このコーナーでは、『かんぴょうスピーカー』や遊具の『おけだま』など、地元企業の商品の魅力を発信する展示も行っています。

「農業支援」については、「小山は工業都市であると同時に農業地帯でもあ



「おやまブランド特産品コーナー」とビジネス支援を担当する木村香保里さん

り、この分野にも力を入れています」と栗原館長。図書館が農業支援を行う珍しい事例として、アメリカ図書館協会の年次総会で行われたポスターセッションで事例発表されました。

### 活躍する『子ども司書』

「子育て支援」では、職員やボランティアによる「おはなし会」などのほか、子ども対象の取り組みに力を注いでいます。総務係長の大塚由香利さんは「8年続く『子ども司書養成セミナー』は、図書館の本や仕事についての講習を受け、司書の体験をしてもらう本格的なものです。修了生は友だちや家族に読書の楽しさを伝える活動をしています」。これまで100人以上の子ども司書



「おはなしコーナー」にある「おけだま」の遊具と児童サービス担当の知久範子さん

が誕生。将来、図書館の強力な応援団になるものと期待されています。

同図書館は昨年度、53万冊の蔵書すべてにICタグを付ける大きなシステム更新を行いました。今後について栗原館長は「これまで以上に学校図書館の支援に取り組みたいと思っています。また、地域資料のデジタル化にも力を入れていきたい」と、ハード、ソフト両面からの充実を図っていく方針です。

## 下野新聞データベース

地域密着の栃木県内ニュースから国内外の経済情報を検索可能!



毎日150件以上更新／収録記事約100万件以上(下野新聞)

下野新聞が、国内最大級の会員制ビジネスデータベースサービス「日経テレコン」とのタイアップにより提供する「下野新聞データベースplus日経テレコン」。下野新聞ならではの地域に密着したきめ細やかな記事と、国内外のダイナミックな動きを幅広く伝える日経各紙の記事を横断的に検索することができます。

地元密着の下野新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

■お問い合わせ 下野新聞社デジタル推進室 Tel.028-625-1041 (平日、土曜9:30-17:30)

下野新聞データベース plus 日経テレコン

下野 日経

検索

<http://www.shimotsuke.co.jp/>

下野新聞社

PR